

「有効な読み方」伝授

神戸で講座 県内企業内定者対象

新聞活用 **NIB**

新聞を活用して仕事の力量を高めてもらう神戸新聞社のNIB講座が16日、神戸市中央区の兵庫県民会館であった。今春、県内の中企業に入社する14人が、新聞の有効な使い方について理解を深めた。

NIBは「Newspaper In Business (ニューズ・ビジネスを)」の略語。新聞を

教科書にして、正しい情報と向き合い、仕事に役立ててもらおうことを目指す。

この日は、兵庫県中小企業団体中央会が企画した合同内定者研修会の一環で、同社の富居雅人NIB推進室長が新聞の構成やネット情報との関わり方を伝授。「ニュースが自分の仕事や生活とどう関わるか、考えを巡らせて」と助言した。

また、宮田一裕経済部長が、県内の企業動向を紹介。文章力アップ講座もあった。島根県立大4年の荒川忠信さん(23)は「見出しを読むだけでも社会の動きが分かってすごい」と話していた。(中務庸子)



新聞の読み方や記事の生かし方を学ぶ参加者ら
神戸市中央区、兵庫県民会館